

I .名古屋経済大学の教員養成に対する理念

◆ 本学の教員養成に対する理念

名古屋経済大学（以下、「本学」という）の建学の精神は、設置主体たる学校法人市邨学園の創立者・市邨芳樹が 1903 年にその著『やぶつばき』のなかで述べた「一に人物、二に伎倆」という言葉に集約される。

また本学学則第 1 条は「本学は、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）の趣旨に基づき、豊かな教養と専門的知識及び技能を授けるとともに、本学の建学精神に則り、人物教育を主眼とし、個性を伸長して、実践的人物を育成し、広く社会に寄与することを目的とする」と謳っている。

そして 2020 年春に取り纏めた本学中期計画においては、その冒頭にて教育目標を「本学の建学の精神である『一に人物、二に伎倆』に立脚した実践教育を具現化し、『現代社会で必要とされるグローバル人材の育成』を目指す」と明示した。

このように本学は、教員養成の前提としてまず人間教育を標榜し、実践教育を通じて社会に貢献できる人物の育成を掲げている。そしてその人物像を「地域に根ざしグローバルに活躍する人材」と定義した。これは本学が養成を目指す、初等・中等教育に携わる幅広い種類の教員に共通する像に他ならない。